

## モニタリングサイト 1000 沿岸域調査

## 毎年調査結果票 2009（平成 21）年度

(1)サイト名	大槌（岩手県上閉伊郡大槌町・釜石市）	略号	SBOTC
(2)海域区分	①北部太平洋沿岸		
(3)緯度・経度 (WGS84)	吉里吉里：39.3735 N；141.9468 E		
	*根浜：39.3272 N；141.9042 E		
(4)調査年月日	2009年7月27日～28日		
(5)調査者氏名	サイト代表者：仲岡雅裕（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション厚岸臨海実験所）		
	河内直子（厚岸水鳥観察館）		
(6)環境の概要	<p>吉里吉里：宮城県から岩手県にかけての三陸沿岸リアス式海岸域では、各湾の奥部の堆積物底に、アマモ場が形成されている場合が多い。本モニタリングでは、船越湾南部（吉里吉里海岸周辺）に分布するアマモ場を対象とした。本アマモ場の後背の陸域は砂浜、漁港および岩礁である。アマモ場は水深 2 m から 17 m 付近にかけて形成されるが、護岸堤が存在する付近では分布が途切れる。海底は岸側（西）から沖側（東）に向かって比較的なだらかに深くなる。底質は砂および泥砂である。</p>		
	<p>*根浜：大槌湾には小規模なアマモ場が点在するが、本アマモ場の中では比較的広い面積（数 ha）である。本アマモ場の後背の陸域は砂浜および漁港である。アマモ場は水深 1 m から 7 m 付近にかけて見られるが、護岸堤が存在する付近では分布が途切れる。海底は岸側（西）から沖側（東）に向かって比較的なだらかに深くなる。底質は泥砂である。</p>		
(7)植生（アマモ場）の概要・特徴	<p>船越湾およびその周辺海域には、アマモ、タチアマモ、スゲアマモ、オオアマモ、スガモの 5 種の海草が出現する。モニタリングサイトの吉里吉里海岸沖においては、水深 4～6 m にアマモが、水深 5～17 m にタチアマモが生育していた。浅い水深帯では、両種は混成するのではなく、それぞれのパッチがモザイク状に分布していた。深い水深帯においては、タチアマモがパッチ状に分布するが、パッチの大きさと被度は水深と共に減少する傾向があった。オオアマモは、浪板海岸沖の水深 10～12 m 付近の砂底にアマモと共存する形で分布していた。スゲアマモおよびスガモは船越湾および根浜の調査地には発見されなかったが、大槌湾箱崎沖の堆積物底でスゲアマモの分布が確認された。</p>		
(8)植生（アマモ場）の変化	<p>昨年度と比較すると、船越湾の吉里吉里において、浅い方の観測点でアマモの被度が減少している傾向が見られた。ここには流れ藻となったコンブ類が多く堆積しており、これがアマモ場の被度減少となんらか関連しているかもしれない。深いほうの観測点では昨年度からの大きな変</p>		

	<p>化は見られなかった。</p> <p>一方、大槌湾の根浜においては、特に深い観測点においてタチアマモの被度の減少が著しかった。この要因は不明である。</p>
(9) その他特記事項	<p>第4回自然環境保全基礎調査の藻場調査結果（1991年）では、当海域のアマモ場は調査範囲に含まれていない。音響探査により求めたアマモ場の面積は、約50haほどである（Tatsukawa et al. 1996）。世界最長の海草（タチアマモ）が生育する場所として、また本州で唯一オオアマモの生息が確認されている場所として、非常に貴重な海草藻場である（Aioi et al. 1998, 2000）。隣接する大槌湾にある東京大学海洋研究所国際沿岸海洋研究センターを基地とした生態学的研究が集中的に行われており、生態学的知見も集積している（Nakaoka 2002, Nakaoka et al. 2003, Kouchi et al. 2006）。</p> <p>【文献】</p> <p>Aioi, K., Komatsu, T. and Morita, K. (1998) The world's longest seagrass, <i>Zostera caulescens</i> from northeastern Japan. <i>Aquatic Botany</i> 61: 87-93</p> <p>Aioi, K., Nakaoka, M., Kouchi, N. and Omori, Y. (2000) A new record of <i>Zostera asiatica</i> Miki (Zosteraceae) in Funakoshi Bay, Iwate Prefecture. <i>Otsuchi Marine Science</i> 25: 23-26</p> <p>Kouchi, N., Nakaoka M., Mukai, H. (2006) Effects of temporal dynamics and vertical structure of the seagrass <i>Zostera caulescens</i> on distribution and recruitment of the epifaunal encrusting bryozoa <i>Microporella trigonellata</i>. <i>Marine Ecology</i> 27: 145-153</p> <p>Nakaoka, M., Kouchi, N. and Aioi, K. (2003) Seasonal dynamics of <i>Zostera caulescens</i>: relative importance of flowering shoots to net production. <i>Aquatic Botany</i> 77: 277-293</p> <p>Nakaoka, M. (2002) Predation on seeds of seagrasses <i>Zostera marina</i> and <i>Zostera caulescens</i> by a tanaid crustacean <i>Zeuxo</i> sp. <i>Aquatic Botany</i> 72: 99-106</p> <p>Tatsukawa, K., Komatsu, T., Aioi, K. and Morita, K. (1996) Distribution of seagrasses off Kirikiri in Funakoshi Bay, Iwate Prefecture, Japan. <i>Otsuchi Marine Research Center Report</i> 21: 38-47</p>

調査地の地図



位置図（広域地図）  
 吉里吉里  
 円内に調査地がある。  
 スケールは 5 km を示す。



位置図（詳細地図）  
 吉里吉里  
 円内に調査地がある。  
 スケールは 1 km を示す。



位置図（広域地図）  
 \*根浜  
 円内に調査地がある。  
 スケールは 5 km を示す。



位置図（詳細地図）

\*根浜

円内に調査地がある。

スケールは1 km を示す。

\*根浜は調査日程に予定があれば調査するエリアである。

調査地の景観、生物写真等



景観写真  
海側より陸側をのぞむ



調査風景  
陸側より海側をのぞむ



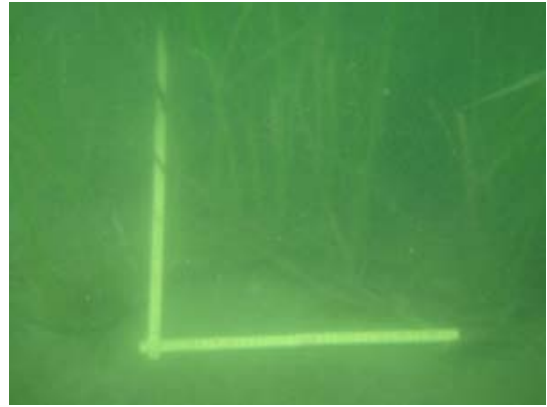
調査風景



水中写真（タチアマモ）



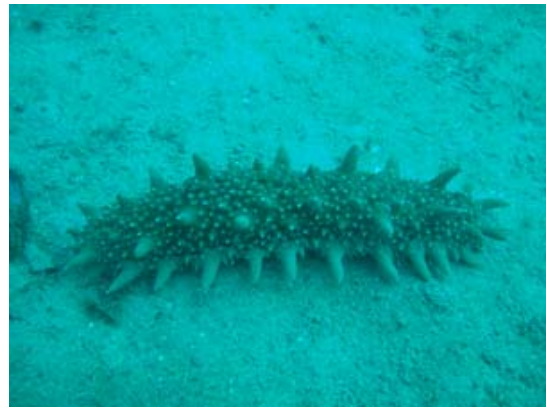
方形枠写真（タチアマモ）



方形枠写真（アマモ）



水中写真（アマモとオオアマモ）



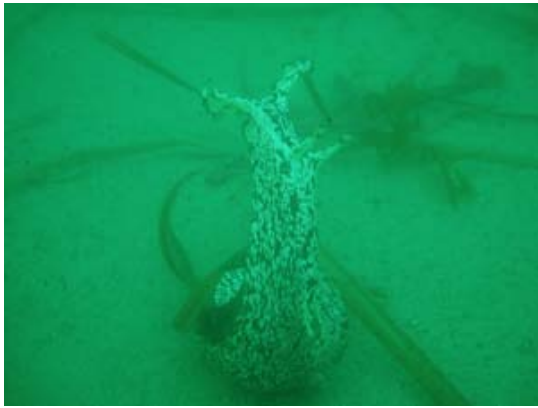
生物写真（マナマコ）



スゲアマモ（大槌湾室浜沖で撮影）



生物写真（マヒトデとムラサキイガイ）



生物写真 (アメフラシ)



生物写真 (ウミサボテン) (根浜沖)



生物写真 (エイの仲間) (根浜沖)